

静岡テックプランングランプリ

県立大院チーム 最優秀

浜松

研究開発型ベンチャーの発掘・育成を目指す第1回静岡テックプランングランプリがこのほど、浜松市中区の静

岡大浜松キャンパスで開かれた。県内の企業、研究者、学生などでつくる9チームが最終選考に臨み、県立大の大学院生らでつくる「プロテインデザイン研究所」が最優秀賞に選ばれた。

プロテインデザイン研究所のメンバーは、県立大食品蛋白（たんぱく）質工学研究室の大学院生。「機械学習で切り開く次世代タンパク質設計技術」と題して、コンピュータ上でタンパク質や酵素の全領域を設計し、高



パートナー企業側（手前）と質疑応答をする発表チーム
＝浜松市中区の静岡大浜松キャンパス

機能な性質を持たせる技術を紹介した。バイオ医薬品の分野などに展開が可能とアピールした。起業家育成などを手掛けるリバネス（東京）が各地で開催するプログラム。今回はヤマハ発動機、NOK、藍沢証券、浜松信用金庫がパートナー企業として、新規性、実現可能性、事業への情熱などを審査し、それぞれに企業賞を贈った。